２０２６年度　上期の電気機器の状況

２０２６年１１月１９日

一般社団法人日本電機工業会

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

目　次

1．経済の概況

2．重電機器分野

2-1　概況
2-2　国内生産の状況（2026年度上期実績）
2-3　国内生産の増減内訳
2-4　2026年度下期　国内生産動向

3．白物家電機器分野

3-1　概況
3-2　国内出荷の状況（2026年度上期実績）
3-3　国内出荷の増減内訳
3-4　2026年度下期　国内出荷動向

■ 参考資料

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

1．経済の概況①

- IMF世界経済見通し（2026年10月）では、2026年の世界経済成長率を3.1%と予測し、7月時点の見通しから0.1ポイント上方修正した
- AI関連投資の拡大などを背景に世界経済は一定の底堅さを維持しているものの、中東情勢の長期化によるエネルギー価格上昇や貿易摩擦の再燃、各国の財政悪化などにより、経済の強靭性は次第に低下している

- 日本経済は、賃上げの定着や設備投資の拡大、堅調なインバウンド需要に支えられ、緩やかな成長を続けている
- 一方で、エネルギー・原材料価格の高止まりや海外経済の減速、自然災害の影響は、企業収益や個人消費の下押し要因となっている

Copyright © 2026 JEMA All Rights Reserved.

1．経済の概況②

1．日本成長戦略の推進

- 今後5年間の国内投資の方向性を示す「日本成長戦略実行計画」を年内に策定

2．エネルギー・インフラ需要の拡大

- エネルギー転換や供給力増強、さらには効率向上に向けた投資を拡大
- AIの社会実装拡大やデータセンター需要の増加を背景として、十分かつ安定的な電力供給の確保を重視

⇒電力設備、送配電ネットワーク、蓄電池などの関連市場の成長が期待

3．成長投資への加速

- AI、半導体、量子技術、コンテンツ、フュージョンエネルギーなど、国際的な産業競争が激化する分野への重点投資を推進
- 国内投資の拡大と高度人材の呼び込みを通じ、日本の産業競争力強化を目指す

⇒電機業界にとっては、中長期的な成長機会の拡大

Copyright © 2026 JEMA All Rights Reserved.

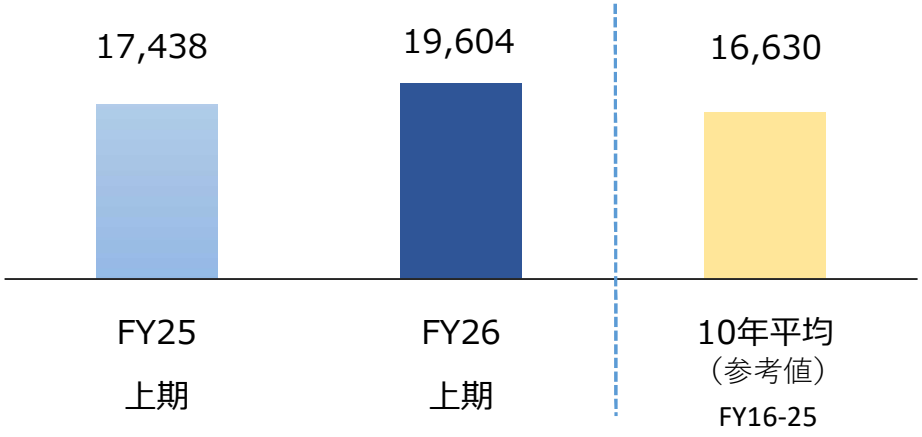
2．重電機器分野

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

2-1　概況

重電機器　2026年度上期 国内生産　１兆9,604億円（前年同期比112.4%）

重電機器　国内生産金額（億円）



単位：億円、%	25年度 上期	26年度 上期	前年同期比
重電機器　国内生産	17,438	19,604	112.4

出所：経済産業省 生産動態統計

- 電力向け機器である、発電用原動機や変電機器は、前年同期を**上回った ↑**
- 産業用汎用電気機器も前年同期を**上回った ↑**
- 生成AI向けデータセンター投資の拡大等により半導体、電子部品産業向けの設備投資、国内外の電力関連投資の増加が、市場拡大をけん引した

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

2-2　国内生産の状況（重電機器分野）

（単位：億円、%）	2025年度 上期	2026年度 上期	前年同期比
重電機器合計（1＋2＋3＋4）	17,438	19,604	112.4
1.発電用原動機計	1,635	1,856	113.5
ボ イ ラ	584	609	104.3
蒸気タービン	197	118	59.7
ガスタービン	854	1,129	132.2
2.回転電気機械計	5,067	5,647	111.4
うち交流電動機	1,935	2,170	112.2
うちサーボモータ	412	451	109.6
3.静止電気機械器具計	3,255	3,603	110.7
うち変圧器	1,305	1,446	110.9
うち電力変換装置	1,481	1,704	115.1
うちインバータ	622	748	120.1
4.開閉制御装置・開閉機器計	7,482	8,498	113.6
うち密閉形ガス絶縁開閉装置	333	444	133.1
うち監視制御装置	954	918	96.2
うち低圧開閉器・制御機器	2,638	3,199	121.3
うちプログラマブルコントローラ	480	565	117.8

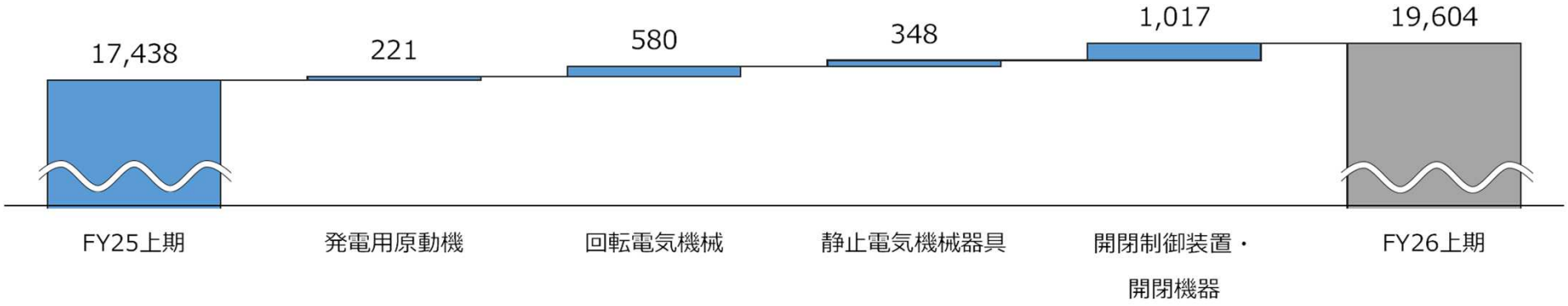
出所：経済産業省　生産動態統計

※端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

2-3　国内生産の増減内訳（重電機器分野）

2026年度上期　国内生産　増減内訳（億円）



主な増減要因	
重電機器合計	• 1兆9,604億円、前年同期比112.4%と前年同期を**上回った** ↑
発電用原動機	• 発電用原動機全体としては、前年同期を**上回った** ↑ • 蒸気タービンは前年同期を**下回った**↓が、ボイラ、ガスタービンは前年同期を**上回った** ↑ 特に世界的な電力需要増を背景にガスタービンの輸出向けが伸長した。
回転電気機械	• 回転電気機械、静止電気機械器具、開閉制御装置・開閉機器は、前年同期を**上回った** ↑ • 電力向けが中心の、監視制御装置は前年同期を**下回った** ↓が、変圧器、GIS（密閉形ガス絶縁開閉装置）は、前年同期を**上回った** ↑ • 製造業向けの設備投資においては、生成AI向けデータセンター投資の拡大等により半導体、電子部品産業向けの設備投資が堅調であり、インバータ、サーボモータ、PLC（プログラマブルコントローラ）など、産業用汎用電気機器は前年同期を**上回った** ↑
静止電気機械器具	
開閉制御装置・開閉機器	

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

2-4　2026年度下期　国内生産動向（重電機器分野）

- **発電用原動機**

上期に引き続き、ボイラおよび蒸気タービンは低調な水準が続く見込み
一方で、再生可能エネルギーを補完する調整力電源として、ガスタービンの輸出向け需要が拡大しており、全体では前年同期を**上回る↑**見通し

- **電力向け機器**

変圧器、GIS（密閉形ガス絶縁開閉装置）、監視制御装置などは、再エネの主力電源化を背景に、次世代電力ネットワークや送配電網の整備が進んでいることから、引き続き需要の増加が見込まれており、前年同期を**上回る↑**見通し

- **製造業向け設備投資関連**

生成AI向けデータセンター投資の拡大等により半導体・電子部品産業向けの設備投資が引き続き堅調に推移する見込み。このため、インバータ、サーボモータ、PLC（プログラマブルコントローラ）などの産業用汎用電気機器についても、上期に続き前年同期を**上回る↑**見通し

電力インフラ関連投資と半導体関連投資を背景に、重電機器の下期生産は堅調に推移する見通し

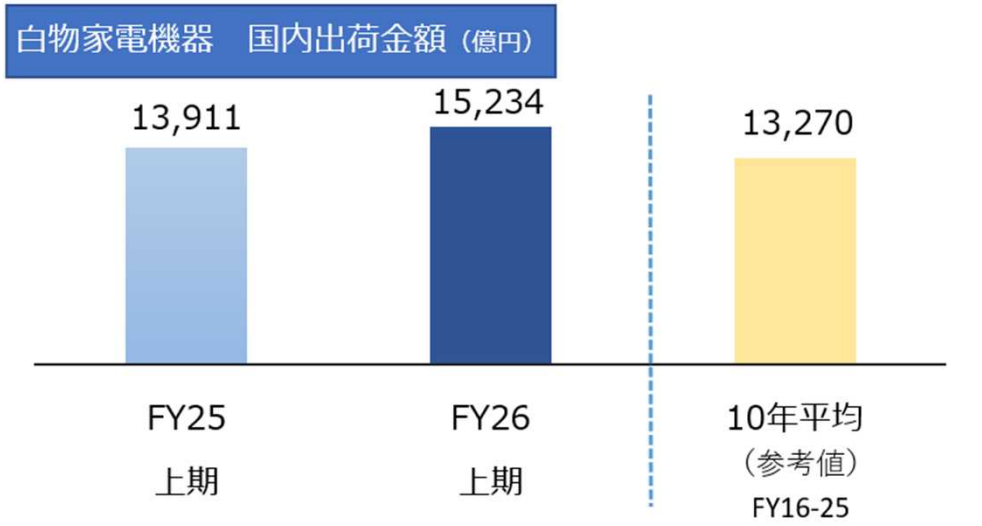
Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

3．白物家電機器分野

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

3-1　白物家電機器 概況

白物家電機器　2026年度上期 国内出荷　1兆5,234億円（前年同期比109.5%）



単位：億円、%	25年度上期	26年度上期	前年同期比
白物家電機器　国内出荷	13,911	15,234	109.5

出所：日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）

- ルームエアコンが好調だった。省エネ法の目標年度を前にした需要の高まりや、自治体による補助金の効果に加え、猛暑が出荷を押し上げた
  ルームエアコンが全体を大きく牽引し、白物家電機器全体でも前年同期を**上回った ↑**
- 上期として過去最高の出荷金額となった

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

3-2　国内出荷の状況（白物家電機器分野）

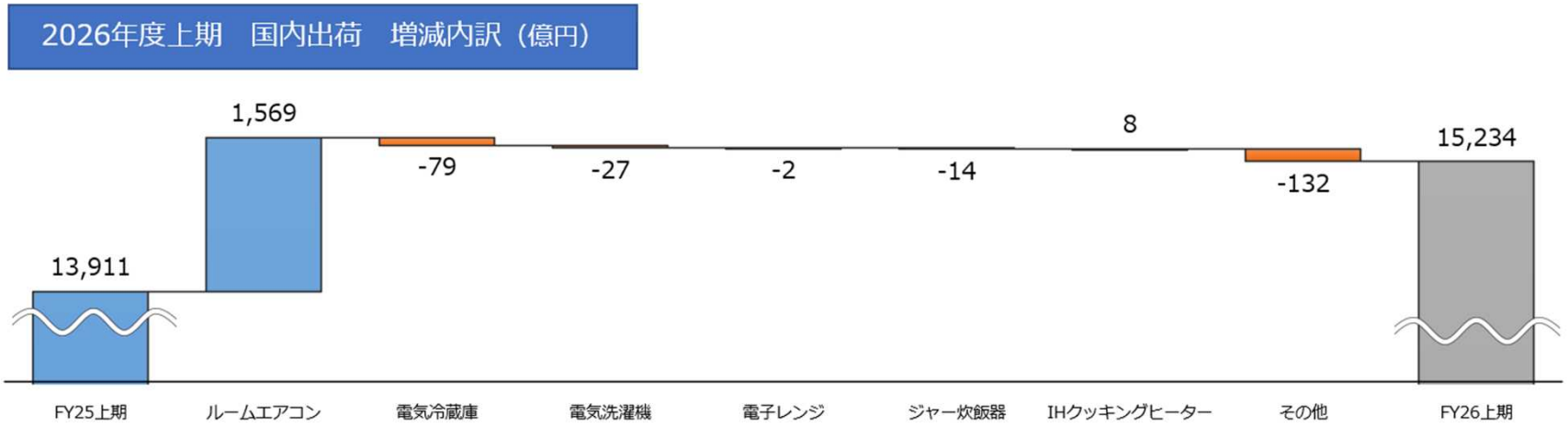
（単位：億円、％）	2025年度 上期	2026年度 上期	前年同期比
白物家電機器合計	13,911	15,234	109.5
ルームエアコン	5,505	7,074	128.5
電気冷蔵庫	2,022	1,943	96.1
電気洗濯機	1,896	1,869	98.6
電子レンジ	468	466	99.5
ジャー炊飯器	506	492	97.2
IHクッキングヒーター	393	401	102.0
その他（上記品目以外）	3,121	2,989	95.8

出所：日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）

【備考】端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

3-3　国内出荷の増減内訳（白物家電機器分野）



主な増減要因	
白物家電機器合計	• ルームエアコンに牽引され、前年同期を**上回った ↑** • 上期として過去最高の出荷金額となった
ルームエアコン	• 省エネ法の目標年度を前にした需要の高まりや、自治体による補助金の効果に加え、猛暑が出荷を押し上げ、前年同期を**上回った ↑**
電気冷蔵庫	• 買い替えサイクルの長期化や、少人数世帯の増加による大型→中型シフト等により、前年同期を**下回った ↓**
電気洗濯機	• 電気洗濯機全体を牽引してきた「洗濯乾燥機 ドラム式」も前年並みと振るわず、前年同期を**下回った ↓**
電子レンジ	• 「オーブンレンジ」「単機能レンジ」ともに低調で、前年同期を**下回った ↓**
ジャー炊飯器	• ご飯のおいしさを追及した「IH式」も低調で、前年同期を**下回った ↓**
IHクッキングヒーター	• 住宅着工戸数の持ち直しもあり、前年同期を**上回った ↑**

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

3-4　2026年度下期　国内出荷動向（白物家電機器分野）

- ルームエアコンについては、省エネ法の目標年度を前にした買替需要が継続すると見込まれ、国内出荷は前年を**上回る↑**見通し

- 一方、ルームエアコン以外の製品については、物価高による耐久消費財の買い控えや人口減少の影響を受け、市場規模は緩やかな縮小が続くと想定

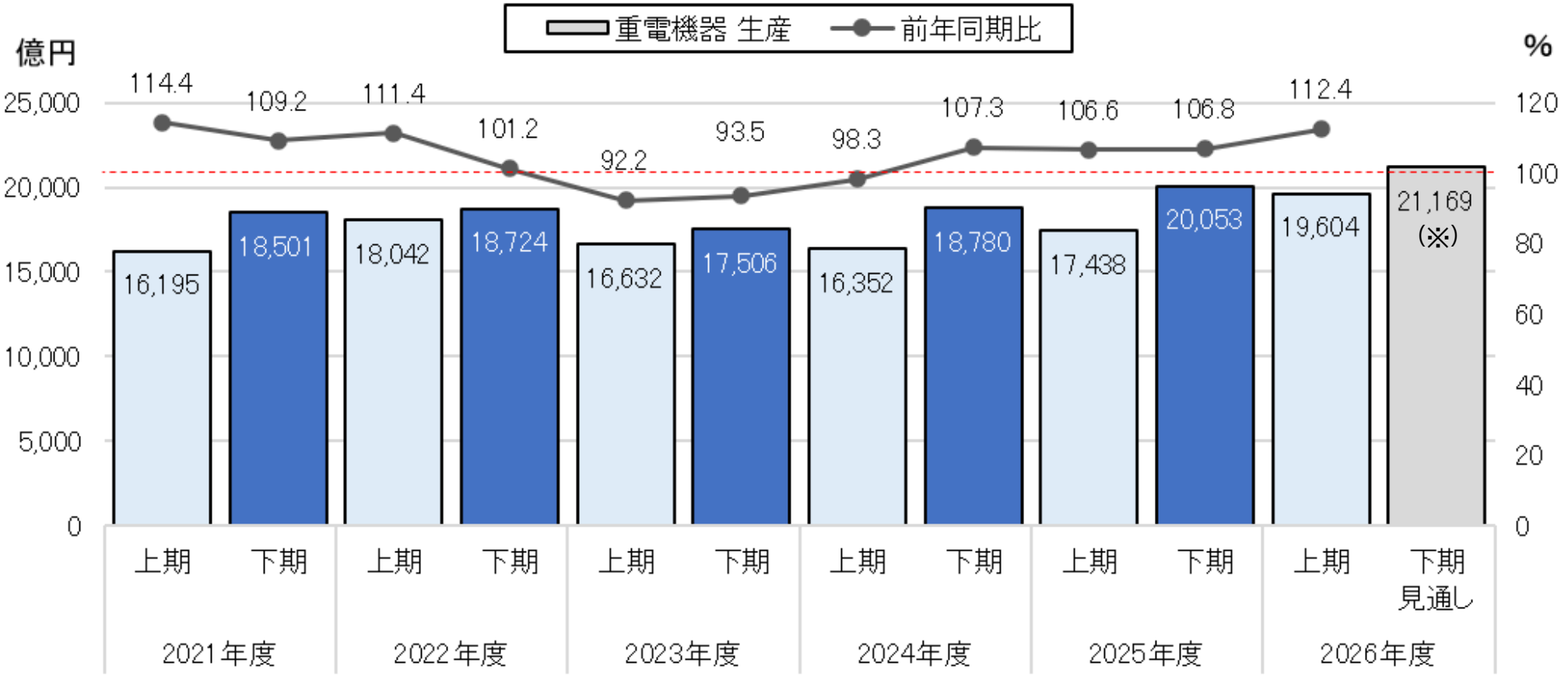
ルームエアコンが全体を牽引し、白物家電機器の下期国内出荷は、前年同期を上回る↑見通し

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

■ 参考資料

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

1．【重電機器】国内生産額推移－半期別



出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】 （※） 2026年度下期見通しは、2026年3月13日に発表したものである

Copyright © 2026 JEMA All Rights Reserved.

2．【重電機器】国内生産実績－生産分類別

経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMAが受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました

（単位：億円、%）	2025年度 上期	2026年度 上期	前年同期比
重電機器合計	17,438	19,604	112.4
受注生産品*1	6,360	6,818	107.2
発電用原動機	1,635	1,856	113.5
電力・一般産業用機器	4,725	4,962	105.0
産業用汎用電気機器*2	7,089	8,167	115.2
その他の重電機器*3	3,989	4,619	115.8

出所：経済産業省　生産動態統計

＊1　受注生産品：　発電用原動機（蒸気・ガスタービン等）、発電機、大容量変圧器等
電力及び産業用（自動車、鉄鋼等）向けの電気設備

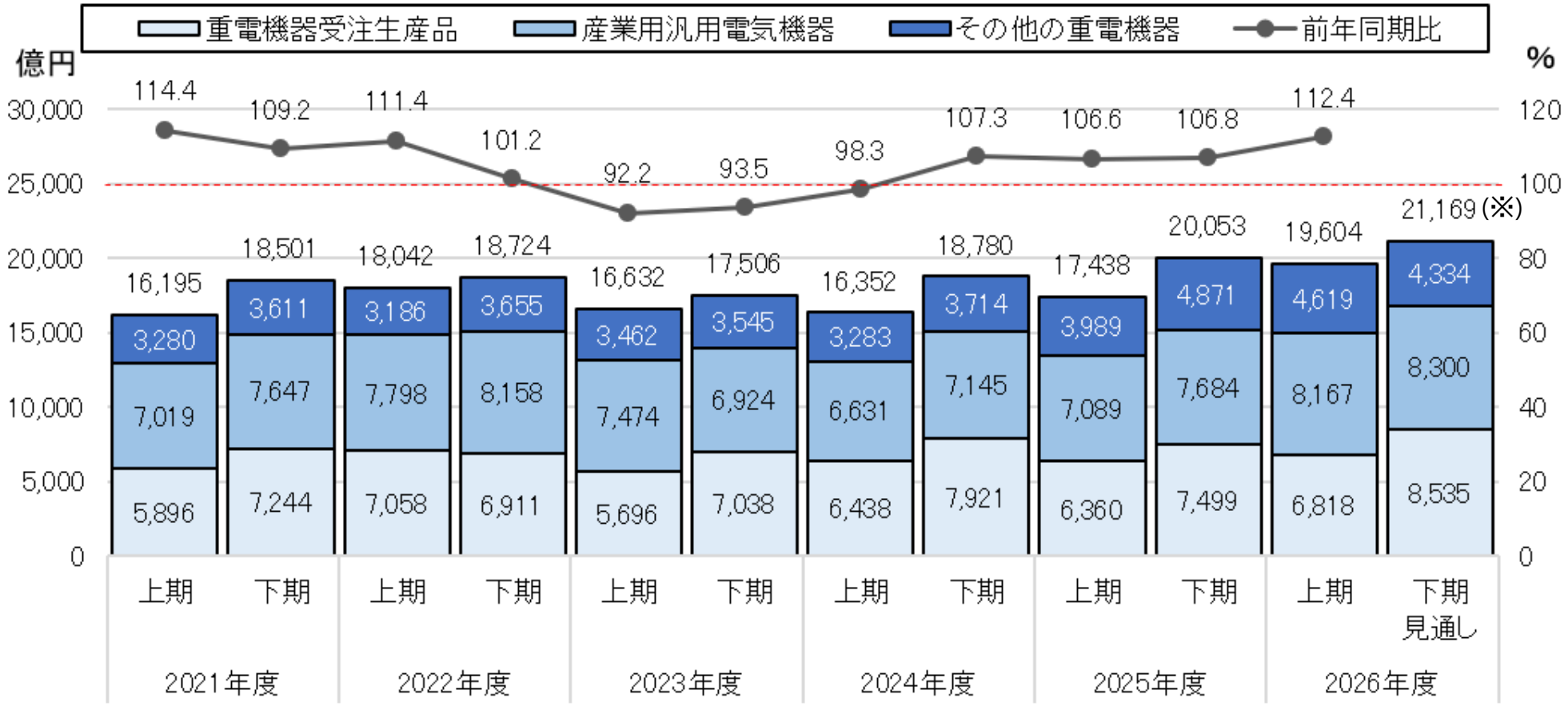
＊2　産業用汎用電気機器：　汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品
流通は代理店経由が多い

＊3　その他の重電機器：　電気炉、電気溶接機、分電盤等
機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、
データとして分類できない機器

【備考】端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

Copyright © 2026　JEMA　All Rights Reserved.

3．【重電機器】国内生産額推移－生産分類別

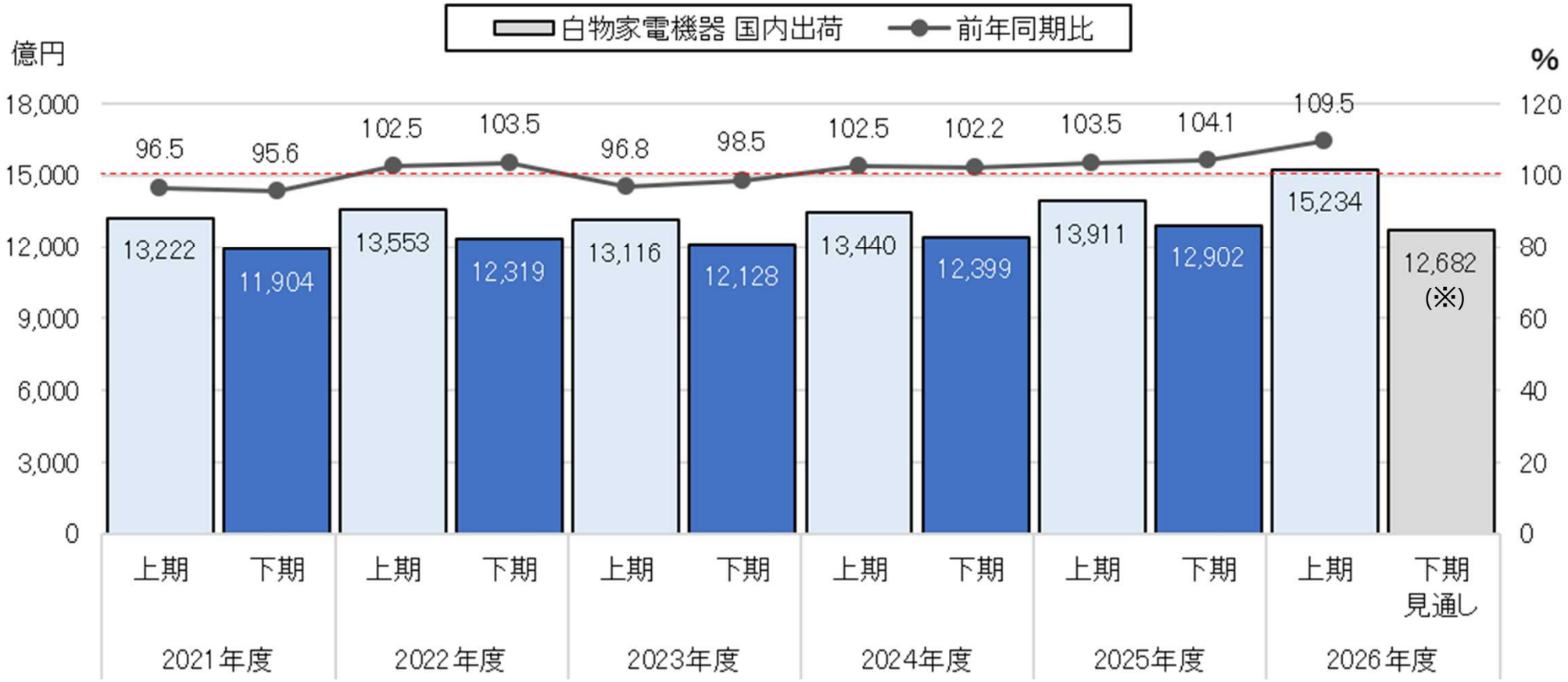


出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】（※）2026年度下期見通しは、2026年3月13日に発表したものである

Copyright © 2026 JEMA All Rights Reserved.

4．【白物家電機器】国内出荷額推移－半期別



出所：日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）

【備考】（※）2026年度下期見通しは、2026年3月13日に発表したものである

Copyright © 2026 JEMA All Rights Reserved.